

令和5年8月25日(金)

皆さんおはようございます。

はじめに、35日間の夏休み中、大きな事故なく、元気に2学期を迎えることができたことをたいへんうれしく思います。

これまでにない暑さの厳しい夏でしたが、勉強や部活動などの活動を通して一回り大きく、たくましくなったのではないかと思います。

さて、この夏休み中に行われました中体連県大会、東北大会、全国大会、及び各種大会、コンクールや、NHK放送コンテスト全国大会、長崎派遣事業など対外的な活動などにおいて、五中生の活躍が見られましたことは、大変素晴らしいことであり、皆さんの日々の努力を、心より称えたいと思います。

特に、私が大会の応援で感じたことをお話しさせていただきます。

まず、連日、高校野球が放送され、強豪校と言われる学校の部員は100名以上でその中から選手は20名、ほとんどが選手になれず、スコアラー、相手チームの分析係、応援など自分の役割に徹していました。

先日の中体連では、五中女子バレーボール部が、初の東北大会出場そしてベスト8の快挙を成し遂げました。部員は30人で選手は12名です。選手になれなかった3年生は、選手が最高の状態で試合ができるように荷物の整理やボールの空気圧の調整などの準備をし、また、声がかかるまでギャラリーで五中応援歌やエールを送るなど、本気になって仲間のために力を尽くしてくれました。

どちらも、選手としての出場がかなわなかった生徒に視点を当ててお話ししましたが、チームにとっては欠かせない存在です。そして、その経験は、選手以上に、部活動でしか得られない体験として、人間性の育成につながっています。

部活動でのチームスポーツとしての重要なことは①チームの中での自分の役割をしっかりと自覚すること、②何不自由なく部活動ができていることに感謝の気持ちを持ち続けること、そして、③部員全員で励まし合い、支え合い、高め合うことです。ぜひそれぞれの部で実践してください。

さて、いよいよ今日から82日間の2学期がスタートしました。最大の行事である桜木祭も控えています。

さらに、3年生にとっては、夏休み中に行われた三者相談を通して、一人ひとりの進路目標を実現させるための重要な学期となります。1・2年生においてもそれぞれの学年に応じた果たすべき役割があります。また、1学期の反省であったトイレの使い方、備品等の取扱いなど、意識しながら学校生活を送りましょう。

最後になりますが、大切な2学期を充実させるためにも、教育目標の1つである「共生」共に生きるということを常に意識し、思いやりの気持ちをもって学級や学年の仲間と良好な人間関係を築きながら、様々な活動に積極的に取り組んでほしいと思います。

郡山第五中学校長 小山健幸